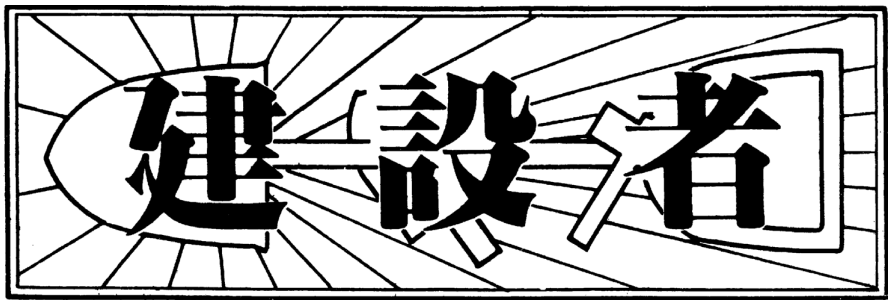


今月の葛飾組織現勢

2022年11月1日現在	4328人
加 入	15人
転 入	1人
脱 退	54人
転 出	4人
2022年12月1日現在	4286人



東京土建一般労働組合
葛 飾 支 部

〒124-0012 葛飾区立石8-34-4
電 話 (5698) 1 2 6 1
FAX (5698) 1 2 6 2
発行人 関 根 伸 正

2年ぶりの予算要求集会

1582人が集まり東京駅までデモ行進

2020年、2021年は新型コロナウイルス感染拡大を受け、秋の予算要求集会は中止となりましたが、今年は、夏に続き、秋も予算要求集会を開催することができました。それでも例年より参加者が少なく、葛飾支部からは24人の参加でした。

午前は対都

午前は、対都要請行動。都庁前には、東京土建をはじめ東京都内の各労働組合が集結。円安やウクライナ戦争による資材・物価の高騰や、若年者の減少および高齢化の問題

午後は対国

午後からは、場所を変え日比谷野音で集会を開催。東京

題、低賃金の問題など様々な問題を抱え厳しい建設業の現状を訴え、私たち建設業への支援となる施策を打ち出す東京都の来年度の予算編成となるよう要望をしました。東京都の交渉先は財務局、福祉保健局、都市整備局、環境局、産業労働局、主税局および、都議会の各政党でした。



東京駅までデモ行進



プラカードを掲げる葛飾から参加のみなさん（日比谷野音）

土建をはじめ全国から1582人が集まりました。メインスローガンに「建設国保の育成・強化、物価上昇をくいとる」。集会には、自由民主党・立憲民主党・公明党・日本共産党・国民民主党・社会民主党の国会議員も参加し、あいさつがありました。要請先は、厚生労働省保健局、厚生労働省労働基準局、厚生労働省人材開発統括官、国土交通省住宅局、国土交通省不動産・建設経済局、財務省、国税庁でした。集会最後には、参加者全員に配られたプラカード「建設国保 育成・強化」「物価高騰から仕事、暮らしを守れ」の2種類を、会場に集まった参加者全員が掲げ、交渉団の後押しをしました。その後、日比谷公園から銀座意を通って東京駅まで、デモ行進をしました。



集まった財務省宛要請ハガキ

ハガキで予算確保

6月から始まった来年度の土建国保への補助金確保のための予算要求のハガキ要請行動。多くの組合員・家族のみなさんの協力のもと、10月から11月までは財務省宛のハガキ要請行動に取組んできました。その結果、財務省へは、4454枚の要請ハガキを提出することができました。

この財務省へのハガキ要請行動は、上記の予算要求集会とも連動した運動で、集会に参加できなくても一人一人が行動できる運動です。8月末に厚労省が財務省に提出した

2023年新春のつどい

2020年1月から新型コロナウイルスの感染拡大が広がり始め、3年が経とうとしています。円安、物価高、ウクライナ戦争など様々な要因が絡み合い、依然として私たち建設業を取り巻く環境は他産業と比べても厳しい状況が続いているのが現状でもあります。そんな中でも、春・秋の拡大月間ではコロナ禍でもできることから合言葉に「取組み、葛飾支部の目標を連続して超過達成すること」ができました。23年は、この疲弊した建設業を少しでも良くするため、組織としては着実な実増をめざし、仕事でも地元

国保守の取り組みを進めよう

2023年度の概算要求額（国保組合関係予算）の減額をさせないために取組んできました。

【ハガキ行動集計】

- ・厚労省宛ハガキ（6・7月）…5372枚
- ・東京都宛ハガキ（8・9月）…5014枚
- ・財務省宛ハガキ（10・11月）…4454枚

健診受診しよう

東京土建国を守る私たちができる取り組みには、ハガキだけでなく、健康診断の受診も関係してきます。土建国保への補助率にはみなさんの健診受診の率も関係しています。みなさんの健康のためにも、年に一回無料でできる健康診断を受けて、健康管理をすすめましょう。

【今年度最後の集団健診予定】

日時…3月12日（日）
会場…テクノプラザかつしか
締切…2月28日（火）



ネット署名URL

ネット署名をしよう

※申し込みは、チラシをご利用ください。また、健康診断は集団健診だけでなく、最寄りの提携医療機関でもできます。ご不明な点は支部までお問い合わせください。

寅さん

11月15日、世界人口が80億人となったと報道された。人類の進化の研究によると1500年頃は5億人、18世紀の産業革命以降、世界人口の増加ペースが上がり、1800年には10億人、1900年に16億人、1950年に25億人、1998年には60億人にまでその人口を増やし続けてきた。将来的に、2030年に85億、2050年に97億と世界人口は、近い将来100億人に達すると予測されている。一方、日本の人口では、1900年4384万人、1950年8290万人、1996年に1億人となった。2000年には1億2600万人と百年前の3倍の人口に増えていった。その後は、2010年を境に人口減少。少子高齢化が進む現在の日本の形となったのはみな知る通りであろう。私たち建設業に目を向けるとピークが1997年の685万人で、以降数字の上では約500万人で推移しているのが現状となる。ただし、今の建設業は、従事者数だけで見えない、他産業に比べると若手入職者の減少、高齢化の問題が顕著に表れている産業で、大きな問題を抱えている。これらの問題に対して、東京土建をはじめとした労働組合に求められるものは、大手企業交渉をはじめ、公契約条例制定運動など、働く環境から賃金に至るまで現場で働く従事者にとって希望の持てる環境作りであろう。

第45回住宅デー

11月に2分会開催 全分会で開催に

今年度の第45回住宅デーは、9月11日（日）の中央分会の住宅デーから始まり、10月23日（日）に10分会、11月6日（日）に奥戸と幸田の2分会が住宅デーを開催。13の地域分会全てが区内各所で開催することができた今年の住宅デーとなりました。

奥戸分会

まっけた包丁研ぎ



奥戸分会の住宅デー

程良い包丁の数、落ち着いて作業する仲間達。久しぶりの仲間との共同作業は楽しいもので。「包丁研ぎだけ」も良いものです。

正直、大量に來ると丁寧さが不安で、程よい包丁数でした。要員もコロナ感染を考慮すれば約20人と適度な距離を保ちつつ、慣れもあり効率良く作業と接客できた仲間、自己評価したいです。

包丁124本
お客さん73人

【人出を期待するならば】工作教室やポップコーン、こどもの遊び場との声もありました。再々度のコロナ感染者が増加傾向にありますし慎重なイベントにしました。宣伝も例祭でのチラシ配りに空いている掲示板と口コミだけで地味に。でも待っている人はいたみたいで、開始前から来場者が訪れました。

幸田分会

ミッキー工作で笑顔



幸田分会の住宅デー（工作）

【丸太を切ったミッキーを作ろう】『釘を打ったら本立てが出来る？』このキャッチコピーで子供たちが大勢来てくれる。

三つのコースター状のものをポンドで繋げると輪郭が見えてくる。ポストで絵付けをしたら完成となる。

初めて手にする大きな工具に持て余しながらも大人たちの手を借りながら、ギョギョ、シャーシャー軽快な音が聞こえてくる。

子供たちが手にするのは、丸太切りに特化した鋸の歯で、用意されていた直径十二センチ程の木材を輪切りにしていく。ミッキーの顔の部分になるだろう。小振りの耳になる部分も二つ必要だ。

木を切って釘を打つ。建設従事者の誰もが基本中の基本と考えることだろう。お家を作る時は鋸や金槌を使う事が多いが、総じて言えば、我々は木工さんであると言えらるであろう。

最後にサンドペーパーで木肌を整えたら満面の笑顔が見えた。完成した子供たちにはお菓子を手渡すところ、このころが聞こえてくる。今回の住宅

デーは、包丁研ぎによる集客から脱却する事を念頭にアイデアを出し議論の上、子供たちに来ていただき長く滞在してもらう事で付き添いの親御さんが東京土建をもっと知って頂くきっかけの場にしていく事が大事。

又、例年通りに包丁研ぎ受付も行われている。切れ味が蘇りお手元に。

今回の住宅デーには大勢の未来の木工さんが来てくれました。

石綿含有建材事前調査学習会

令和5年10月から有資格者調査が義務化



川口本部労対部長



学習会に25人が集まる

【労働対策部担当 松沢書記】11月10日（木）19時から葛飾支部会館にて本部労働対策部長の川口敏彦氏を講師に、石綿含有建材事前調査学習会を開催しました。

前に、対象物の石綿含有の有無を事前に調査し（令和4年4月1日開始）、一定以上の請負工事を行う場合は、元請事業者による行政への調査結果が義務化、さらに令和5年10月1日以降は有資格者による調査が義務化されます（現行は有資格者でなくても調査可）。調査を怠ると懲役や罰金刑も科せられます。

有資格者であり、実際に調査・結果報告も行っている川口講師は、石膏ボードや屋根材などの写真を交えながら、品番の確認方法や経験に基づく検体採取のポイントを解説、検体分析費用の目安、調査にあたっての飛散防止アイテムの紹介、掃除機等を持参していただきました。

会場から、調査報告を行うためのオンラインシステムBizについて質問があり、これを利用すると自治体と監督署双方に一度に報告が完了し出向く必要がなくなることも、今後は調査を外部委託しても費用は低下傾向になるかもしれないが、調査日程を施主、元請事業者、調査者の

年末年始に於いて左記の日程で葛飾支部事務所を閉鎖します。ご来所時には気をつけてください。

年末年始

業務案内&連絡先

3者で調整が必要となるので、資格を取得しておいた方がよい、とのアドバイスもありました。当日の参加者は、全体で25名でした。

化学物質「MOCA（モカ）」による膀胱がん労災申請

■ MOCA（モカ）とは？

防水材、床材や全天候型舗装材などに利用されるウレタン樹脂の「硬化剤」で、従来から「特定化学物質障害予防規則」の「特定第2類物質」及び「特別管理物質」とされています。

この化学物質「MOCA（モカ）」によって膀胱がんになった板橋支部2人の仲間（防水・大工）が、昨年、労災申請を行ないました。建設業ではMOCAで初の申請です。東京土建は、膀胱がん罹患し、過去にMOCAを使用したことある仲間に対し、労災申請をすすめていきます。本人、家族問わず組合に問合せください。

※今年12月22日には、過去（2年以上前）のMOCAによる膀胱がんの労災申請が時効となります。

MOCAのばく露期間・潜伏期間と膀胱がんの発症リスク

- ① ばく露期間…少なくとも5年程度のばく露で膀胱がんを発症する可能性があると考えられる。
- ② 潜伏期間…ばく露開始から10年以上経過した後に膀胱がんを発症する可能性が高い。

連絡先 所属支部もしくは東京土建本部・労働対策部 03-5332-3971

機関紙コンクール

今年も奥戸が特選受賞

毎年開催の本部機関紙コンクール。今年は、25支部から分会新聞・青年・シニア・主婦の各機関紙から157紙の応募がありました。10月28日の外部審査で決定する特選入選紙には18紙が選ばれ、その中で、葛飾から応募の『奥戸（奥戸分会）』9月号が選ばれました。おめでとございます。

葛飾支部からは、『奥戸』『ほんでん（本田立石分会）』『青戸分会』『中央』『習蒲堀切分会』『みずもと』『女性の会かつしか』の7紙に応募しました。

来年2月に本部で表彰式で特選紙に選ばれた『奥戸』は表彰される予定です。

葛飾支部では、13分会中6分会と女性の会が新聞を発行しています。未発行の分会は、発行できる体制を作れるよう新年度に向けて今から準備をしていきましょう。



特選受賞の奥戸9月号（右：1面 左：2面）

	2022年 1月 1日付	2022年 12月 1日付	秋月間(9・10月)		年末拡大		1月比 増減
			目標数	成果数	目標数	成果	
た つ み	491	484	17	17	5	2	-7
奥 戸	398	393	14	15	3	1	-5
本田立石	325	327	11	11	4		2
青 戸	155	147	5	5	2	1	-8
中 央	398	385	14	16	4		-13
堀 切	262	264	9	10	2	1	2
亀 有	373	384	13	13	4	3	11
細田高砂	379	384	13	13	4	5	5
柴 又	180	181	7	7	1		1
新 金 町	315	301	11	12	3	1	-14
北 水 元	200	184	7	8	2	3	-16
幸 田	275	280	10	11	2		5
水 元	376	387	13	14	3		11
そ の 他	181	185	8	8	1	1	4
合 計	4308	4286	152	160	40	18	-22

1月1日付人員比 マイナス22人

実増を目指す2022年の組織拡大は、今月の12月までの取り組みです。年間目標561人に対して、12月1日時点483人（86・1%の達成率）です。

各ラウンドの結果は左記の通りです。

○春一番拡大
目標112人
拡大成果84人

○春の拡大・超過達成
目標151人
拡大成果154人

○夏の日常拡大

現在
年間目標達成分会は、中央・堀切・細田高砂の3分会です。

組織人員の推移からみると2022年1月1日付人員の

7分会が実増 年間実増をめざそう

年間実増をめざす年末拡大行動

4308人に対して、2022年12月1日付人員が4286人。マイナス22人と組織実増を目指すすえ、減少となつています。12月1日付の実増分会は、本田立石・堀切・亀有・細田高砂・柴又・幸田・水元の7分会です。2023年1月1日付人員を実増で迎えるため、多くの仲間を迎え入れて、私たち建設業界の処遇改善に向けた組合要求運動の力にしていきたい。



16名が受講した石綿特別教育講習会

参加者は、現場に入るために必要という意識のみならず、自身を守るためという姿勢が感じられました。

最後は、受講者全員が修了証を受け取り講習会は終了しました。

【技術対策担当 高橋書記】10月30日（日）に葛飾支部会館で石綿特別教育を開催しました。

石綿関連の法改定が来年の10月から始まる影響を受け、問い合わせ多数の講習です。葛飾支部でも、より多くの組合員が知識を付け職に活かすことができるようにと、開催を決定しました。

16名の参加者で、そのうち5名は他支部からの参加です。

講習が始まる前にラジオ体操を行い、体をほぐしてから講習に臨みます。

参加者は、現場に入るために必要という意識のみならず、自身を守るためという姿勢が感じられました。

最後は、受講者全員が修了証を受け取り講習会は終了しました。

石綿特別教育を支部開催 16人が受講し、全員合格



第39回仲間の作品コンクール
今年も葛飾からの応募で入賞をめざそう

毎年実施している仲間の作品コンクール。昨年の第38回仲間の作品コンクールでは、短歌の部で篠田綾子さん（北水元）が銀賞を受賞、写真（組合活動）の部

で芳井武さん（青戸）が佳作を受賞しています。葛飾支部組合員からの応募は、毎年のように受賞作品がでています。

この仲間の作品コンクールにみなさんも応募してみませんか？応募要綱は下記のとおりです。応募方法が不明な場合は、支部事務所までご相談ください。

【応募要綱】

○文芸部門：短歌、俳句、川柳

○写真部門：組合活動、スナップ、風景。今年の課題は「私にとっての平和」です。（スマホ写真、デジタルカメラ写真、A4又は六つ切りでの応募）

○締切：12月末（支部業務日まで）

※1人1部門5作品まで応募可。

○写真部門：組合活動、スナップ、風景。今年の課題は「私にとっての平和」です。（スマホ写真、デジタルカメラ写真、A4又は六つ切りでの応募）

○締切：12月末（支部業務日まで）

どけん火災共済・どけん地震共済キャンペーン2022を実施中です。どけん火災共済に加入の方は応募をして景品をもらえるチャンスです。申込用紙など不明な点は、支部までご連絡ください。

キャンペーン締切：12月26日



年末までに
キャンペーン応募を



ソラマチでグランピング 61人が楽しむ

後継者対策BBQ

スカイツリーグランピングに61人

【後継者対策部担当 日暮書記】11月6日(日) 15時からスカイツリーソラマチタワーで、後継者対策部主催「スカイツリーBBQ」を開催しました。参加者は合計61名でした。

スカイツリーが目の前に見える最高のロケーションとグランピング体験も一緒にでき、BBQの時間的にも昼から夜の時間にかけて開催したため、スカイツリーのライトアップも間近で見ることができて最高でした。

途中からはビンゴやクイズ大会も行なって大人も子供も大盛り上がり。

参加者はみんな笑顔で、楽しかったと話していました。次回後継者対策部主催で行うレクレーションも、楽しい企画になるよう、部員みんなで話合っていきます。



3年ぶりの東部PALレクの記念撮影

東部PALレク

浅草一望し楽しく交流

【賞金対策担当 森書記】

11月20日(日)に3年半ぶりとなる東部ブロックPALレクリエーションを浅草ビューホテルの26階「武蔵」にて開催しました。

内容はランチビュッフェで参加者は足立・荒川・葛飾・



支援活動中の阿久津社保対部長

第7回生活支援に330人

第7回となる「コロナに負けない」生活支援・相談プロジェクトを区内団体が集まり11月19日(土) 14時から曳舟

川親水公園で開催しました。新型コロナウイルスの感染が拡大し、東京都でも1万人の感染者報道がされ、第8波に入ったのではないかと懸念される中ではありましたが、コロナ禍で生活支援を必要としている人たちの助けとなればと開催を進めました。新型コロナウイルス感染拡大を受け、2021年3月に始まった支援活動は、2021年に4回、今年2022年に3回を数えます。

当日は、各団体からの支援

者が50人。東京土建からは、阿久津社保対部長を中心に3人が参加しました。来場者は約330人。開場前の準備段階の10時には、人が集まり始めていました。コロナ禍で密を避けるため、人が並ばないように、250人分の整理券を事前準備し、開場前の12時から配布。この時点で、全て

の整理券が配布し終わるほど、多くの来場者が集まっていました。

支援物資は、葛飾区から提供のあった備蓄品(ビスコ・水)をはじめ、地元農家から提供のあった野菜や、お米、乾麺など様々なものを準備。250枚の整理券の数以上の物資を用意して臨みましたが、14時開始後、約40分で物資が終わり、終了となりました。

葛飾支部公式LINE登録しよう

葛飾支部公式LINEにはもう登録しましたか？

登録すれば集団健診やイベント情報など組合の情報が定期的に送られますヨ。登録をして組合の情報をゲットしよう！



PALとは、ゼネコンやハウスメーカー、パワビルダーなど大手企業の現場で働いている仲間の組織です。年2回の大手企業交渉では、現場で働くPAL会員からの情報をもとに要求し、働く現場の改善運動につなげています。そのような運動を進めるためにもPAL会員の募集をしています。お気軽に支部までお問い合わせください。